

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

RIKKEN
MINSHU
号外

2024年
通常国会中間報告

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主党北海道参議院第2総支部 代表
参議院議員

かつ べ けん じ

勝部賢志

札幌事務所 札幌市中央区大通西5丁目8番 昭和ビル5階
TEL 011-596-7339 FAX 011-522-7975
国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館608号室
TEL 03-6550-0608 FAX 03-6551-0608



反省無し 全容解明無し 抜本的法改正もやる気無し 自民党・裏金政治を徹底批判

予算委員会で岸田首相を追及 「首相自身にも重い処分が筋」

「裏金国会」の様相となった通常国会。自民党の主要派閥がこぞって行っていた裏金づくりは政治資金規正法違反、所得税法違反（脱税）の疑いに加えて、用途によっては公職選挙法違反の疑いもあります。金権政治は、国民全体のために行われるべき政治が、カネを提供する大企業や富裕層に有利なようにねじ曲げられることを意味します。裏金問題は、その金権政治が、有権者に隠れて違法かつ大規模に行われていたことが明らかになったものです。立憲民主党は衆参両院の予

算委員会と政治倫理審議会で政府与党を徹底追及、勝部賢志参議院議員も3月25日、予算委員会で質問に立ち、岸田首相を厳しく追及しました。

全容解明なき幕引きは認められない

この日は自民党内の処分で幕引きを図ろうとする動きが見えてきたタイミングだったことから、勝部賢志参議院議員は裏金問題の全容解明なき幕引きは認められないと追及しましたが、岸田首相が曖昧な答弁を繰り返したことから、勝部議員は「間違っても、うやむやの中で処分をしていくことは絶対にやらないように」と強く牽制しました。

この他、岸田派の会長だった首相自身にも役職相応の重い処分が下されるべきであること、裏金議員は裏金を雑所得だったと認めて道義的、政治的な責任として自ら納税申告をすべきであることを指摘し、岸田首相の見解を質しました。

教員なり手不足に「名案なし」!? やる気ない大臣に解決策示す

勝部賢志参議院議員は続いて教員のなり手不足問題について取り上げました。昨年9月の大臣就任会見で教員のなり手不足について問われて「正直、名案はございません」と平然と答えていた盛山文科相に対して、「やる気も責任感も感じられない。自ら身を引いてもらいたい」と辞任を促した上で「これを取り組めば解決できる」として、教員の時間外勤務手当を支給しない根拠となっている給特法の改正と、教員の定数改善（増員）をあらためて求めました。



岸田首相を問いたす勝部賢志参議院議員（予算委員会）